

家庭でのインターネット利用

ネットワークに潜む危険

情報通信ネットワークの発展に伴い、私たちは有益な情報を簡単に取得したり、発信したりすることができるようになりました。しかし、インターネット上の不適切な情報、迷惑メール、ネット詐欺、掲示板、チャットによる人間不信等、いわゆる「情報化の影の部分」に関する問題も指摘されています。家庭でのインターネット等の利用には、保護者の十分な配慮が必要です。

ネットワークに潜む危険

知的所有権の侵害

他人の絵や写真を無断で使う
プログラムソフト等を無断でコピーする

セキュリティー

コンピュータウイルスに感染する
コンピュータ内のデータが盗まれる

有害情報へのアクセス

成人向け、自殺等のサイトを閲覧する
ネット通販による詐欺に遭う
法律で禁じられているものを購入する

個人情報の漏洩

住所・氏名等の個人情報が流出する
コンピュータ内のデータが盗まれる

マナーやルールの無視

掲示板やチャットに無責任な書き込みをする
他人を誹謗・中傷する書き込みをする

家庭での対応

子ども達の作品、使っているプログラムソフト等を把握する

コンピュータウイルス対策ソフトをインストールする
ファイルにパスワードを設定する

子どものアクセス先を把握する
フィルタリングソフトを導入する
保護者のいる所でホームページをみる

安易に住所・氏名・電話番号・カード番号等の個人情報を入力しない
コンピュータの盗難に注意する

思いやりの気持ちを持った行動がとれるよう、日頃から家族と話し合いを持つ

Point

子どもと保護者で約束を決めましょう (約束の例)

保護者のいる所でインターネットを利用する
インターネットを利用する時間を決める
調べ学習のため等目的を持ってインターネットを利用する
他人を誹謗・中傷することは書かない等のマナー・ルールを守る

インターネットに接続するときは、いっしょにね

